

アイリスLetter



2014年10月31日発行
第6号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

人間関係の中できょうだいと言う関係はうるわしい関係もありますが、一方で難しい面もあります。聖書の中にもきょうだいゆえに生じる人間関係のトラブルが描かれています。アダムとエバの二人の息子カインとアベル。兄さんのカインは嫉妬のゆえに弟アベルを殺してしまいます。人類初の殺人事件です。アブラハム・イサク・ヤコブと並べて称されるヤコブ（後のイスラエル）には12人の息子が居ましたが、父ヤコブが末息子ヨセフを偏愛したため他の兄弟達から憎まれ、奴隷に売り飛ばされ、不思議な運命を経てエジプトの宰相となり、大飢饉が起こる中でイスラエルの民を救う立場となります。（旧約聖書、創世記4章と29章～に記載）

NHKの情報番組「あさイチ」で「きょうだいトラブル」の問題が取り上げられた時出演したクリスチャンカウンセラー碓井真史さん（新潟県青陵大学大学院教授）が次の様に書いておられます。『心理学ではきょうだいへの複雑な思いを「同胞葛藤」「カインコンプレックス（上記旧約聖書の登場人物名から取られた）」と言います。きょうだいは生まれながらのライバルなのです。お兄ちゃんの飴が一つ多い、お姉ちゃんのハンバーグが大きいと大喧嘩するが、これは実は食べ物の争いではなく親の愛の奪い合いなのです。だからこうも激しくきょうだいは争うのです。子ども達は差別どころか比較されるだけで不快感を示します。比較されることで親の絶対的な愛が揺らぐ気がするからです。きょうだいは争ったり、劣等感を感じたり、トラブルが起きるのが普通です。その争いを収めるのが親の役割です。親も子も相性があり必ずしもそれは合わないけれど、親がちゃんとフォローできれば問題は起こりません。良い親は子どもたちを平等に愛そうとします。しかしそれでは不十分なのです。子ども達を平等に愛してはいけません。一人ひとりの子どもを一番愛さなくてはなりません。「あなたのことが一番好きよ。」と言ってあげることが子どもの心を安定させるのです。ある子どもに時間を取られることがあります。そんな時こそふだん我慢させている子どもに、時々特別扱いしてあげましょう。…誰かとの比較ではなく、人は一番に愛されることを望んでいます。愛することこそ親の役割です。神様が百匹の羊をまとめて平等に愛するのでなく、それぞれの羊を愛しどの一匹の羊でも懸命に探し出すように。』（クリスチャン新聞福音版よりの抜粋）四人きょうだいで育った私自身の子ども時代や子育ての頃を顧みて、身につまされ感じるところがありましたので紹介させて頂きました。子育てと言うのは大変ですが、しかし本当に尊い業であることを今一度覚えさせられました。文化祭を間近にして一生懸命準備に取り組み成長していく生徒達、またPTAの保護者の皆様の姿を見ながらその感をいっそう強く感じています。

聖書のことば

「ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を探しに行かないだろうか。」

新約聖書マタイによる福音書 18章 12節
(校長)

創立記念礼拝

10月4日(土)、湊晶子先生をお迎えして、創立記念礼拝を行いました。湊先生は戦後間もない頃にフルブライト交換留学生としてアメリカに留学され、帰国後は東京女子大学学長などを歴任、今年度より広島女学院大学学長に就任されました。メッセージでは、東京女子大学も広島女学院も、男性の創立者の影が薄いのは、「女子校は女性によってこそ育てられるべきだ」との積極的な考えですぐに学校を去ったからだと教えてくださいました。これまでの砂本貞吉先生像の修正を迫る教えをいただいたと、感謝しています。

(宗教教育委員会)

学年行事の報告

《中1》バイブルデイキャンプ

中1では、「バイブルデイキャンプ」としてイエスの生涯を学び、またクラスごとに企画をたてて、友達との親睦を深める一日となりました。

午前中には、映画「ジーザス」を鑑賞し、クラス代表による聖書劇の発表を見ました。夏休みから準備してきた聖書劇は、グループで試行錯誤した脚本に加え、凝った衣装や迫真の演技で会場を盛り上げてくれました。生徒たちは、今まで聖書で学んできたイエスの生涯について、映像や発表を見る事により理解を深めたことと思います。

午後からはHR委員を中心に企画をたて、全員文化科学館でプラネタリウムを鑑賞し、その後、中央公園やこども文化科学館にクラスごとに別れ活動しました。天気にも恵まれ、暖かい日差しの下、友達と昼食を食べていると自然と笑顔がこぼれます。中央公園ではドッジボールなど思いっきり広場を走り、文化科学館ではさまざまなものに挑戦する生徒の姿が印象的でした。日常生活を少し離れ、良い



リフレッシュとなり、楽しい一日となりました。

(中1学年会)

《中2》秋の遠足

中2秋の遠足は、各クラスHR委員を中心に生徒が企画した計画に基づき、クラスごとに分かれて行いました。1組は大久野島、2組は砂谷牧場、3組は宮島、4組は備北丘陵公園、5組は広島県立中央森林公園に行きました。秋晴れの1日で少し暑かったですが、各クラスともHR委員の企画したスケジュールに沿ってクラスの親睦を深めることができました。

バーベキューを企画した1組では変わった食材を焼いて、どのグループがおいしいかを選ぶコンテスト、牧場に行った2組は、乳搾りやバター作り体験、宮島に行った3組は、もみじ饅頭作りやししゃもじ作り体験、備北丘陵公園に行った4組は、ドッジボール大会や鬼ごっこ、広島県立中央森林公園に行った5組は、バーベキューやグランドゴルフ大会と各クラスで秋の一日を楽しみました。

(中2学年会)

《中3》長崎研修旅行

3日間通してまさに秋晴れといった晴天に恵まれた長崎研修旅行でした。

1日目は、出発式を行った後、新幹線・バスにて一路長崎へ。長崎ではこの日はすべてクラス毎で活動しました。長崎原爆資料館、岡まさはる記念長崎平和資料館、26 聖人記念館の見学。ホテルでは語り部の方から講話を聞かせていただきました。生徒は1日目の活動を通し、長崎と広島での原爆による被害の違い、太平洋戦争における日本の



加害の側面、戦争・原爆を二度と繰り返してはいけないという思いなど、新たに学んだこと、再確認できたことがたくさんあったようです。特に語り部の方の講話を聞く生徒の真剣な表情が印象的でした。

2日目は、落下中心地碑での平和セレモニーを終えた後、長崎市内の班別自由研修を行いました。グループ毎に長崎の原爆に関する遺構、文化に関するスポットをそれぞれ4カ所以上選び自分達で作成したプランに従って研修しました。多くのグループは、午前中に浦上地区周辺の原爆に関する遺構を巡り、午後からは江戸時代から海外との関わりが深かった長崎の文化に触れるというプランが多かったです。ちょうどこの日は長崎くんちの最終日と重なり、街中で「庭先回り」を行っているところに遭遇したグループも多く、例年以上に長崎の文化に触れることができた一日になりました。

最終日は、ハウステンボスでの班別行動でした。アトラクションを楽しむ生徒、飲食を楽しむ生徒、お土産などの買い物を楽しむ生徒など、とても楽しんでいる様子が見られました。

3日間通してみると、徐々に集団として成熟していく様も見られ、最上級生としてこれからさらに中学校を引っ張っていってくれるであろうという心強さを感じることができました。非常に有意義な3日間でした。

(中3学年会)

《高1》遠足

高1の学年行事は、クラスごとにHR委員を中心に行き先、活動内容、スケジュールなどを決めて遠足を行いました。A組はもみのき森林公園へ。主にバーベキューをして楽しみました。1時間以上火が木炭につかずに悪戦苦闘でした。B組は美川ムーバレーへ洞窟探検に！400年の歴史ある鉾山道の中はかなり涼しく肌寒いくらい、坑道探検が思いの

ほか難しく高校生でもしっかり楽しめました。目の前の川で魚を探したり水遊びをしたり、砂金採り体験も満喫しました。C組はヤマサキの工場見学後、蜂ヶ峰公園で昼食、やまだ屋の工場見学と3か所を巡りました。お土産を沢山いただいて、大満足な旅でした。D組は秋吉台サファリランドに行きました。ライオンの赤ちゃんのかわいらしさに、自然と笑顔になりました。E組は、もみのき森林公園に行きました。クラス全員でケイドロをして大盛り上がり。みんな汗だくになりながら楽しんでいました。

(高1学年会)



《高2》沖縄修学旅行

10月7日(火)～10日(金)の4日間、渡辺高校教頭を団長として、生徒216名、引率教員11名の計227名で沖縄に修学旅行へ行ってきました。10月に入り台風18号、19号が相次いで発生し、修学旅行の出発日に18号は広島に近づく予想進路であったため、生徒、教員ともに不安になりました。生徒の沖縄に行きたいという思いが天に届き、台風が進度を早めたため予定通り無事出発できました。しかし、台風19号は修学旅行中に沖縄に接近しそうな予想進路を進んでおり、この台風の進路次第ではプログラムを変更せざるをえない状況でした。この不安を全員が抱えながら修学旅行はスタートしました。

1日目、2日目は平和学習を中心にした行程です。沖縄戦については1学期から事前学習をしてきました。この2日間ではチビチリガマ、糸数壕、佐喜眞美術館で現地のガイ



ドさんのお話を聴きました。現地学習でしか得ることができない沖縄の方の思いを全身で感じることができました。お話の後にはガイドさんの周りを生徒が取り囲み、時間いっぱい質問をしていました。平和学習に対する生徒の意識の高さにはいつも感心させられます。事前学習、現地学習を終え、次にどうつなげていくのが楽しみです。また、2日目には今年から新たに追加されたプログラムとして、沖縄尚学高校との交流会がありました。



て来ました。

3日目、4日目は沖縄を楽しむ行程です。ちゅら海水族館では雨に降られる場面もありましたが、すぐに晴れて沖縄らしい天候も感じることができました。3日目午後の体験学習は台風19号の影響で風が強く、シュノーケリングとシーカヤックの2つの体験が行えるか心配されました。少し荒れた海になる場面もありましたが、何とか無事体験をすることができ、他の5つのどの体験も生徒にとって貴重なものとなりました。

最終日は台風の影響で飛行機が飛ばないという心配がありましたが、1時間遅れで沖縄を後にしました。これだけスリルのあるフライトを味わうことができたのも旅の良い思い出だと思います。台風のことを行く前から帰るまでずっと気かけながらの旅行となりましたが、大きな事件、事故もなく無事227名が修学旅行を終えることができました。それも生徒一人一人が時間を守り、周りを気かけ行動できたおかげだと思います。家族旅行では経験できないものをこの修学旅行では経験できたと思います。

(高2学年会)

《高3》遠足

高校3年生はみろくの里に行ってきました。受験が近づき、滅入りがちなこの季節、よい気分転換になったと思います。絶叫マシーン(言い過ぎ?)に乗り、大興奮で叫ぶ生徒、走りまわる生徒、同じく遠足で来ていた小学生と仲良くなる生徒、スーパーバイキング(海賊船のアトラクション!)に乗り恐怖で固まる教員、その教員を見て大笑いする生徒…。そして、ノスタルジックな「いつか来た道」では、昭和30年代の町並みに心癒されました。駄菓子をお土産にしようと列ができていました。広島女学院での最後の「遠足」となったのだと思うと、少々感慨深いです。さて、十分に楽しんだ後は……、切り替えて頑張りましょう!



(高3学年会)

キリスト教強調週間主題講演の保護者開放について

今年のキリスト教強調週間には、歌手の沢知恵さんをお迎えして主題講演の時をもちます。保護者の皆様にも開放いたしますので、下記日程の時間どうぞ自由にご参加ください。なお、駐車場はありませんので、学校へのお車でのご来場はご遠慮ください。

記

主題：「かかわらなければ」

日時：11月18日(火) 13:15～14:35(高校)

19日(水) 13:00～14:20(中学)

場所：ゲーンズホール

以上

(宗教教育委員会)



中2・3父親母親教室

今年度の中2・中3父親母親教室は、9月27日（土）に、講師に新甲さなえ女性クリニック院長の新甲さなえ先生をお招きして、開催いたしました。性教育は、保護者の理解と協力の下でこそ実り豊かなものになると考え、こういう機会を設けることはかねてからの願いでした。新甲先生の熱心な、しかもユーモアを交えたお話に、110名の参加者の皆さんはうなづきながら聞き入っておられました。「赤ちゃんの誕生」と結びつけての性教育に大切さ、正しい知識の必要性を、思春期の子の保護者として胸に刻みつけていただけたことと思います。



新甲先生には、講演後も個別の質問に対応していただきました。ご多忙の中、この講演を快く引き受けてくださいました新甲先生に、心からの感謝をお伝えしたいと思います。（中学教頭）

グローバルセミナー開催

9月27日（土）に修道中高と「グローバルセミナー」を共同で開催し、3人の方からお話をいただきました。

福原正大先生は本校のグローバル教育のアドバイザーとして様々な面においてご協力頂いております。今後、日本がどのような道を歩むのかという概論とともに、そのなかで子どもたちに期待されている能力、その育成方法などについて「白熱教室」さながらにレクチャーしていただきました。

「台湾留学サポートセンター」からは安蒜（あんびる）さんに来ていただき、台湾の大学に留学することで、中国語も英語も学べること、高い教育レベルの割には学費が安いことなどの説明がありました。

ベネッセコーポレーションからは、海外の大学に進学することの意味について、豊富な資料をもとにお話いただきました。

両校合わせておよそ230人の参加がありました。今後もシリーズ化したいと思います。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

（GEC（グローバル教育推進部））

SGH研究発表会

8月23日（土）、SGH指定校としての研究成果発表会を開催しました。全国各地から約130名の参加者があり、盛大な研究会となりました。本校がSGH構想に基づき、どのような教育を実践しているかの紹介に加え、著名人をお招きして、パネルディスカッションと分科会を行いました。

基調講演は、IGS学院長で本校のグローバル教育アドバイザーの福原正大先生です。午後のパネルディスカッションは、著名な先生方をお招きして開催しました。

司会者：関西国際大学学長 濱名篤先生
パネラー：英語検定協会アドバイザー 佐伯一行先生、水王舎代表 出口汪先生、広島男女共同参画財団理事長 長尾ひろみ先生、広島市立大学教授 広島平和研究所副所長 水本和実先生

最後の分科会は5つの分野に分かれて行いました。

- ①広島女学院中学高等学校のSGH構想プログラムについて（助言者：水本和実先生）
- ②広島女学院中学高等学校の海外研修プログラムについて（助言者：濱名篤先生、長尾ひろみ先生）
- ③「論理的思考力育成」について（講師：出口汪先生）
- ④これからの英語教育について（講師：佐伯一行先生）
- ⑤グローバル人材の育成について（講師：福原正大先生）

20世紀型の教育（知識の伝達型教育）をどう21世紀型（子どもたちがグローバルな課題に主体的に取り組む教育）に変えていく

か。これが、今の教育界に課せられた大きな課題です。SGH指定校は、その課題に先陣を切って挑戦する学校であると改めて感じた1日でした。お忙しい中、参加して下さった保護者の皆様、先生方、教育関係者の皆様、本当にありがとうございました。

(GEC (グローバル教育推進部))

保健室だより (6)

来室者の中には、かぜ症状で来室する人も増えてきました。がんばりすぎる生活、無理する生活を続けると、かぜもなかなか治りにくいようです。無理して登校しても、翌日にはダウンしてしまいます。勉強も気になりますが、ちょっと早めに寝る、あまりにしんどいようだったら、課外活動も減らしてみるなどの工夫も必要となるでしょう。また、日頃から、うがい、20秒以上の手洗い、栄養な



どに気をつけて、必要時マスクなども着用してみましよう。早め早めの対応で、長引くかぜも、短期間で治したいですね。また、受験生の皆さんは、インフ

ルエンザなどの予防接種などもそろそろ接種する時期となります。

(保健室)

心の健康 (6)

秋は大きい行事もあり、忙しい日が続きます。ストレス対応にも気を配りたい頃です。食事を大切にしておられますか。食べることは人間が生きていくことの基本です。食べることで身体が成長し、健康が維持され、そして心が潤います。

身体と心は相互関係にあるので、ほど良く食べると心も落ち着きます。心配事がありストレスがかかると食べられなくなったり、やたら食べ過ぎてしまったりします。

食事は身体の栄養補給だけでなく、食べ物のきれいな色や香りや匂い、甘味、旨味などから喜びや安らぎ、満足感を得ます。毎日の生活の中で、食事に心配りをし、工夫することはストレス解消にもなります。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学ソフトテニス部

*広島市スポーツ少年団ソフトテニス秋季交歓大会

団体：1部 3位
2部 3位

*広島市中学校新人ソフトテニス大会

安芸・中ブロック大会

個人：3位 O・N (2-4)

M・M (2-1) 組

3位 Y・K (2-5)

I・A (2-3) 組

9位 T・H (2-4)

K・S (2-1) 組

⇒以上3ペア市大会出場権獲得

*広島市中学校新人ソフトテニス大会市大会

団体：3位

◇中学新体操部

*第63回広島県総合体育大会

新体操の部

団体：1位



◇中学合唱部

*第53回中国合唱コンクール 銀賞



◇中学放送部

*第31回広島市中学校放送コンテスト

団体: テレビ番組部門 4位
ラジオ番組部門 6位
総合成績 2位

個人: 朗読部門

S・A(3-1) 1位
K・Y(3-1) 6位
アナウンス部門
A・C(3-3) 2位



◇中学卓球部

*広島市総合体育大会区大会

団体: 2位

個人: T・H(3-5) ベスト4

*広島市総合体育大会市大会

団体: 県大会出場権獲得

個人: T・H(3-5) ベスト8



◇個人の活躍

*正筆会第16回全国学生公募誌上展

N・M(2-1) 毛筆漢字 銀賞
かな 銅賞

《高校》

◇高校剣道部

*広島地区高等学校新人剣道大会

団体: 3位



◇朝鮮文化研究会

*広島県高校生韓国語スピーチ大会

S・R(2-A) 銀賞(3位)
S・M(2-C) 奨励賞
S・M(1-E) 奨励賞

◇GEC(グローバル教育推進部)

*全日本高校生模擬国連大会

予選突破 M・Y(2-B)
M・A(1-E) 組
M・M(2-A)
O・H(2-E) 組
⇒以上2チーム決勝進出

*日本国際連合協会 国際理解・国際協力の
ための高校生主張コンクール

K・S(2-B)
全国代表に選出

※「生徒の活躍」について

この欄は、部活動・同好会の大会・試合結果等を掲載しています。個人については主催団体より学校に直接報告があったものを中心に、個人の報告によるものを載せています。報告は担任を通じて書面でお寄せ下さい。内容検討の上、掲載いたします。



教職員の動向

○体育科の工藤敬子先生のご義父様が10月9日にご逝去されました。ご家族の上に神様の慰めがございませうお祈りいたします。

今月の聖句

「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」

(フィリピの信徒への手紙 3章 13～14節)

NHKドラマ『花子とアン』の原作『アンのゆりかご』の中に、こんなエピソードがあります。花子の母校、東洋英和女学校の卒業式で一人の生徒が泣きながら「この先何十年たっても、この女学生時代ほど楽しい時代は二度と来ないと思います。私たちの生涯のうちで一番幸せな時代は、この学校で過ごした日々です」と言うと、ブラックモア校長先生は「今から何十年後かに、あなたがたが学校生活を思い出して、あの時代が一番幸せだった、一番楽しかった、と心底から感じるなら、私はこの学校の教育が失敗だったと言わねばなりません。人生は進歩です。若い時代は準備の時であり、最上のは過去にあるのではなく、将来にあります。旅路の最後まで希望と理想を持ち続けて、進んでゆく者でありますように。」と語られた。

花子はこの後、人生で辛いことがあるたびにこの言葉を思い出し、昔はよかったと嘆くのではなく、より良い未来が待っていると信じて前へ進もうと勇気をももらったそうです。みなさんにとっても、この女学院での学びや経験が、卒業後の人生の中で、より良い前へと進むための力や勇気を与えてくれるものになってほしいと願っています。

(2014.9.12 中学礼拝、10.15 高校礼拝より)

聖書科M. T)

11月行事予定

1	土	文化祭準備日
2	日	文化祭
3	月	文化の日
4	火	振替休日(文化祭) 高3模試(ハネッテ駿台マーク)
5	水	
6	木	1～3限 土曜授業
7	金	中間テスト素点確認
8	土	高1・2模試(進研)
9	日	
10	月	面接週間(40分授業)
11	火	
12	水	参観日
13	木	
14	金	
15	土	高3駿台実戦模試(希望者)
16	日	
17	月	キリスト教強調週間
18	火	午後 特別プログラム 1限8:55～ 3限まで授業
19	水	1限8:40～ 1～3限火曜の4～6限授業
20	木	
21	金	45分授業 高1・2スピーチコンテスト(7限～)
22	土	45分授業 1限8:40～ キリスト教強調週間特別礼拝
23	日	勤労感謝の日 代ゼミセンタープレテスト
24	月	振替休日 広島県高等学校ギターマンドリンフェスティバル
25	火	選択科目1号用紙提出
26	水	
27	木	4～6限 土曜授業 7限 高LHR
28	金	月曜授業
29	土	
30	日	待降節(～12/24)

